

令和2年度 江戸川区立瑞江第三中学校 学校関係者評価 報告書

学校教育目標	○自ら学んで、自己を高める生徒（知性） ○人を大切にして、共に生きる生徒（敬愛） ○心身が健やかで、活力のある生徒（健康）	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・生徒の心を耕し、体を鍛え、学力を伸ばす学校 ・自ら学んで自己を高め、人を大切にして共に生き、心身が健やかで活力のある生徒 ・生徒に耳を傾け、模範を示し、導く教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<p><成果>○学習指導において、学習規律の徹底は概ね良好であった。○生活指導において、主任のリーダーシップの下、組織的な取組みができ、学校全体が落ち着いた。</p> <p>○特別支援教育について、校内委員会を定期的に開き、SCも交えて情報交換・協議を行うことができた。○図書ボランティア・植物栽培で学校応援団を活用した。</p> <p><課題>○生活習慣において、テレビ視聴およびスマホ使用の時間を減らし、家庭学習の一層の充実をはかる。○主体的対話的で深い学びを目指した、校内研修の実施や授業改善を図る取り組みを行う。○生徒や保護者、そして指導する教員それぞれが過度の負担にならない部活動を推進する。</p>		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	「各教科等の連携教育プログラム」の実践と見直しをする。	年度末に次年度に向けた改善策をまとめる。	C	C	○連携教育の確認ができた。●実践について協議が出来なかった。	B	小中が一緒に活動が出来なかった。	各教科及び生活指導関連の連携に力を入れる。
	「瑞三文武両道八カ条」の推進	リズム正しい生活を心がけて、生活改善の意識を向上させる。	各学期に生活点検週間を設け、各家庭と共に生活リズムを見直す。	6条補足「テレビ、スマホ、ゲーム等あわせて2時間以内」の生徒を60%以上にする。	B	C	○各学期に行えた。 ●家で時間の使い方を考える機会を作ることが必要である。	B	家庭だけでは指導が出来ないが学校から言ってもらってよかった。	家庭とより一層連携して、家での過ごし方について考えていく。
	花があふれる学校への推進	保護者が中心である緑の応援団と生徒の園芸ボランティア部が連携して取り組む。	植え替えと土日を含めた日常の水やりや手入れを行う。	年に4回の植え替えを行う。	A	A	○放食入口を花で飾れた。 ●コロナ禍で、緑の応援団と園芸部との連携が少なかった。	A	季節の花を楽しみにしています。	地味だが継続して取り組む。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	各教科でPCやプロジェクターを使った授業に1回以上取り組む。	各教科でPCやプロジェクターを使った授業に1回以上取り組む。	B	B	○8割の教科でICTを利用した授業を行った。●プロジェクターを使うには暗幕が足りない。	B	黒板上のプロジェクターは素晴らしい。どのように使うか見てみたい。	ICT機器の利用がもっと楽になる環境を整える。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることによる指導・支援の充実	校内委員会を中心として、巡回指導教諭と連携を図りながら推進する。	毎週1回の校内委員会を行い指導・支援を充実させていく。	B	B	○校内委員会を中心に連携して生徒指導を行うことが出来た。 ●外部機関との連携に欠けた。	B	色々な生徒に良く対応していると思う。	外部機関との連携をより深めながら指導を進めていく。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	年間30回以上の補習授業の実施と基礎学力テストの開催。	基礎学力テストにおいて、70%以上の正解率を目指す。	B	B	○補習授業を計画的に行った。 ●低学力生徒の参加が少ない。	B	テストの団体感や暗記の成果を横断などの名称を使って生徒のやる気を出させる等、工夫が良い。	低学力生徒への補助とともに、新学習指導要領に沿った学習をしていく。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実 ・読書科ノートの活用など、探究活動、探究的な学習の充実 ・学校図書館を使った授業の充実	読書科で探究的な学習に取り組む。	主に学校図書館を使った調べ学習での成果物を作る。	B	B	○各学年で計画的に探究的な学習を取組むことが出来た。 ●成果物をより一層充実させる。	B	読書好きな生徒を育てて欲しい。	より充実した成果物の作成を目指す。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	体育や休み時間における運動によって運動意欲の向上を図る。	体育で毎回の補助運動の実施、昼休みの体育館開放をおこなう。	B	C	○積極的に運動を伴う遊びをする生徒が増えた。●体力テストの結果が余り向上していない。	B	体力・気力がつくように指導をお願いします。	楽しく体力作りが出来る工夫をする。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	オリンピック・パラリンピックへの興味・関心が高める。	各教科でのオリ・パラ教育に関する指導を年35時間以上行う。	B	B	○各教科でオリパラ教育を推進した。 ●講演会は実施出来なかった。	B	オリンピックへの関心を持ち続けて欲しい。	実施の不可に関わらずレガシーを残していく。
健全育成に向けた取組の充実	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	授業力の向上を目指し、校外での研修に取組む。	区や都の学力調査で平均値との差を無くす。	B	B	○コロナ禍対応で、例年と違う学習方法を研究し実践した。 ●校外研修は行えなかった。	B	学力向上は保護者の切実な願いであるので更なる向上をお願いします。	4/1から校内研修を実施し新学習指導要領に沿った学習を行っていく。
	いじめを許さない学校作りの推進	いじめの未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実	いじめアンケートを各学期で行う。	いじめが発覚しても解決できる環境をつくる。	B	B	○アンケートからいじめを発見し解決に導くことが出来た。●誰が嫌がらせをしているかわからない案件があった。	B	とにかくいじめを無くしてもらいたい。	いじめがすぐに発覚出来る体制作りを行う。
	不登校対策の充実	不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実	続けて休む生徒には家庭訪問を行う。	30日以上欠席する生徒を15人以下にする。	A	B	○家庭学習課題を作成し自宅待機中に計画的に取り組ませることが出来た。 ●30日以上欠席者数は20人以上となった。	B	簡単なことでは無いことはわかるが、不登校の対応をお願いしたい。	不登校生徒がより多くの人に関わるようにしていく。
その他	適切な生活指導の実践	健全育成を目指した魅力ある学校づくりの取組の充実	3年生の姿を見せて後継を育てる。	3年生次の学級生活満足度を60%以上にする。	A	B	○主要行事は出来なかったが、3年生の活躍を1・2年生に見せることが出来た。 ●学校全体で取組むことが少なかった。	B	制約が多い年だったが、楽しく登校していることが良かった。	良い伝統として続けていく。
	地域との連携を図る	学校応援団の活動の継続と会わなくても学校と繋がる活動の充実	学校たより等を地域に発行する。	月1回の学校たよりの配布を行う。	C	C	○学校たよりを発行した。 ●それ以外に何も出来なかった。	B	学校たよりで学校の様子が伺えて良かった。	新校舎を紹介する取組を行う。
	新校舎改築に向けた環境の整備	より多くの方の意見を取り入れた新校舎作りへの推進	整備に関する意見の集約とまとめ及び校庭借用の連絡連携を行う。	体育で校庭借用している4校と部活での6校との良好な関係作り。	A	B	○近隣の小中学校と連絡を密にし滞りなく他校での活動が出来た。 ●他校への往復で時間がかかってしまう。	A	校庭が無くても、他の学校と同じように活動できて安心している。	次年度も連絡を取りながら進めていく。